

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクール朝霞駅前		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	関係機関(園やご家庭、相談支援事業所や進学先の小学校移行先との連携)との連携を積極的に行っている。	保護者様のニーズを的確にとらえること。職員間で共有し、スムーズに支援につなげようと努めている。	着実に潜在的なニーズの掘り起こしを行います。
2	社会の中でその子らしく幸せに生きていく力を育むために、お子様の主体性を伸ばす係わりを行っている。	保護者様や関係機関からの情報を職員間で共有し、支援方針の統一を図っている。担当がお子様一人一人に責任をもってアセスメントを行い、療育プログラムや支援方針を検討している。 お子様に合わせた支援方法で土台作りを行い、応用力を育てている。	お子様がリラックスし、輝ける場所であり続けるために、一人一人にあった支援内容や配慮を検討し、実施します。
3	保護者支援の一つとしてペアレントトレーニングを実施している。同伴型の通所施設のため、保護者様同士、横のつながりを持つことができる。	保護者様のニーズに合わせて集団、個別、オンラインでペアレントトレーニングが受けられるように環境を整えた。 保護者様と職員の会話は、内容によってはプライバシーを配慮してお子様や他保護者様とは別室で行うことができるようにしている。別途、面談の時間を設けている。	事業所や地域の行事、児童発達に関するお知らせを積極的に行います。
4	SEDスクールの土台づくりの柱でもある感覚調整遊具を用いた療育を実施している。	職員間で感覚調整遊具を使用した遊びの提案や検討を行っている。	眠育に関しては職員の専門性を高め、今後さらに充実させていく必要がある。オンライン診療やカウンセリングの仕組みが整いました。
5	風通しが良いので、職員からの意見が出やすい。	日々のカンファレンスでの意見交換や情報共有がスムーズであること。	情報共有や検討会、勉強会、研修などを行う時間を確保します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育の場面以外の様子を把握しきれていない。小学生以降の支援ができないこと。	放課後等デイサービスや計画相談事業を実施していない。	他事業所や地域との交流を図ります。担当者会議や園訪問を通してお子様の現在地を共有し、お子様の将来像や人生をイメージしながら支援いたします。放課後デイサービスを実施している姉妹校から情報提供を求めたり、地域の事業所を見学するなどして補ってまいります。
2	専門職、医療職等。	社内外の研修参加や自己研鑽の時間の捻出。	睡眠生活リズムにおいては、オンライン診療やカウンセリングの仕組みを有効活用します。専門職の巡回指導を受けたり、社内研修の充実を求めます。
3	環境面。	修繕の遅れや整理整頓。	設備を丁寧に扱い、メンテナンスを行います。